令和4年度 福井市喜小中学校 スクールプラン

福井市学校教育目標

郷土福井に誇りを持ち、 たくましく生きる子どもの育成

令和4年度 市学校教育方針 学びをつなぐ・未来につなげる

- 保護者の願い
- 地域の願い

学校教育目標「豊かな人間性と健やかな心身をもち、主体的に実践する子の育成」

小中一貫した未来を切り拓く力を育む教育(9年間を見通した教育)

校訓 自主・敬愛・剛健



めざす児童・生徒像

- ・自ら考え、協働して実践する子
- ・感謝と思いやりをもって行動する子
- 困難に負けないたくましい子

児童・生徒の実態

教師の願い

重点目標

具

的

な

取

わかる授業づくり

居場所づくい・絆づくり

たくましい体づくり

開かれた学校づくり

- ◎基礎・基本的の定着と児童生徒が 生きて働く知識を確実に身につける 授業づくり
- ◎育成を目指す資質・能力を明確にし、 生き生きと互いに学び合うことによ り、主体的・対話的で深い学びにつ ながる授業づくり
- ○「対話部会」「振り返り部会」を中心 とした、授業づくりの活性化
- 〇主体的・対話的に取り組むための 課題の与え方や内容の工夫
- 〇授業公開と授業研究の推進(田村 学先生の来校に合わせて)
- 〇小学校における中学校教諭による 授業支援のさらなる実施

- ◎温かい心で、個性や多様性を認め 合える集団づくり
- ○教育活動全体で人権教育の実施と 道徳性や道徳的実践力の育成
- 〇小中通した縦割り集団での活動を 通して思いやりや 感謝の心を育成 (コロナ禍に甘んじず、挑戦する)
- ◎夢や希望を育てる発達段階に応じ たキャリア教育の推進
- 〇年3回の教育相談週間の中でのア ンケートや面談により、いじめ・不登 校の未然防止・早期発見に努める
- ○挨拶・清掃・聴き方の三本柱に磨き をかけ、困難に負けない力を育成
- ONPY(Natsume Power Year)を合い 言葉にすべての教育活動を展開

- ◎基本的な生活習慣の定着
- ○体育の授業の充実や業間での運動 を活用して体力の向上と健康増進 および運動の日常化
- ○意欲や目標をもった学校体育行事 や部活動への取組
- 〇保健指導や栄養指導を通して健康 な心身をつくる体制づくり
- 〇自分の身を守る安全教育の推進
- ◎集団登校時・自転車通学時での安 全指導、避難訓練を通して、危険 回避および対応能力の育成 (引き渡し訓練の実施)
- 〇日常の安全点検を徹底し、施設の 安全確保と教育環境の充実

- ◎家庭・地域との連携の充実 〇年5回以上の学校開放
- ○各種たよりやホームページを通じて 積極的に学校の情報を発信
- 〇地域行事の企画から参加する積極 的参加交流の推進
- 〇地域の教育資源や学習環境を積極 的に活用して学びを広める活動を 推准
- 〇保幼小の接続、小中の連携を推進
- ◎家庭・地域と連携してネットの利用 や情報モラルの育成
- 〇家庭・地域・学校協議会(棗懇話 会)を通じて、学校情報発信や学校 評価等の地域教育力の活用



- •授業が分かると答える児童生徒 90%以上
- ・授業中、自分の考えを進んで発表し ていると答える児童生徒90%以上
- 主体的に学ぶ楽しさを味わえる授業 に取り組んだ教員90%以上
- ・毎日学校へ通うのが楽しいと感じる 児童生徒90%以上
- 自分にはよいところがあると答える 児童生徒90%以上
- キャリア教育に力を入れていると答 える教員が90%以上



- でいると答える保護者95%以上 ・基本的な生活習慣が身についてい ると答える保護者90%以上
- 安全面について適切に指導している と答える保護者90%以上



- 学校は教育内容を適切に伝えている と答える保護者90%以上
- 学校の教育内容を十分に公開してい ると答える保護者90%以上
- ・児童生徒活動・学校行事等を活発に 行っていると答える保護者90%以上

業務改善のための取組 ①学校行事・業務内容の精選 ②ノー残業デー水曜日18時退勤 ③月残業時間45時間以上の教員が25%以下

④「市中学校における部活動の方針」に沿った部活動の適正化 ⑤会議の時間短縮(60分以内)・効率的運営